

ASAHIKAWA
CITY

令和7年度

事業報告書

旭川市工業技術センター



目 次

1	工業技術センターの概要・・・・・・・・・・	1
2	技術基盤・・・・・・・・・・	3
3	試験、検査及び測定・・・・・・・・・・	4
4	機器開放及び貸室・・・・・・・・・・	5
5	技術指導及び相談・・・・・・・・・・	8
6	講習会、研修会及び体験事業等の開催・・・・・・・・	9
7	情報収集及び提供・・・・・・・・・・	1 1
8	その他の主な事業・・・・・・・・・・	1 1

1 工業技術センターの概要

(1) 所在地 旭川市工業団地 3 条 2 丁目 1 番 18 号
(TEL 0166-36-3111 , FAX 0166-36-4461)

(2) 沿 革 昭和 6 3 年 7 月 7 日 建設工事着工
平成 元年 2 月 1 6 日 建設工事しゅん功
平成 元年 4 月 1 4 日 開 所

機械金属及び関連工業の技術の向上を図るために、技術指導、研究開発、情報の提供を行い、産業の振興発展に寄与することを目的に設置した。

(3) 施設の概要

敷地面積		建築面積		延床面積		構 造	
14, 975. 00 m ²		1, 681. 76 m ²		2, 670. 78 m ²		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建	
室 名	面積(m ²)	収容人員(人)	室 名	面積(m ²)	収容人員(人)		
会 議 室	93. 79	36	精 密 測 定 室	70. 31	—		
視 聴 覚 室	229. 71	150	特 殊 加 工 室	57. 62	—		
実 習 試 験 室	175. 00	30	メカトロニクス実験室	61. 13	—		
設 計 室	76. 56	—	材 料 試 験 室	37. 50	—		

駐車場収容台数 50 台

※室名は主な部屋のみ掲載

(4) 建設事業費 833,849 千円
事業費内訳 建設工事費 553,990 千円 機器購入費 143,722 千円 用地取得費 136,137 千円
財 源 内 訳 道 補 助 金 60,000 千円 日本自転車振興会補助金 104,600 千円
市 債 467,400 千円 一 般 財 源 142,329 千円 そ の 他 59,520 千円

(5) 主要機器

- ①材料試験機器 万能材料試験機、ロックウェル硬さ試験機、ブリネル硬さ試験機
塩水噴霧試験機、コンクリート圧縮試験機、蛍光X線分析装置
- ②非破壊検査機器 超音波探傷機、磁気探傷機、X線探傷機
- ③測定・計測機器 静ひずみ測定器、動ひずみ測定器、デュアルタイプ膜厚計、
超音波厚さ計、粗さ測定器、ハイトマチック、デジタルマイクロスコープ、
ミックスドシグナルオシロスコープ、3Dスキャナ
- ④CAD・CAM 3DCADシステム(Solid Works 2016、Fusion)
3DCADCAMシステム (Mastercam)
- ⑤加工機器 レーザ加工機、旋盤、フライス盤、平面研削盤、バンドソー、
シャリングマシン、プレスブレーキ、TIG溶接機、
ワイヤカット放電加工機、マシニングセンタ、3Dプリンタ

(6) 事業内容

- ①試験・検査及び測定 工業材料の強度試験（引張・圧縮・曲げ・破壊等）、金属の組織試験、工業計測等依頼試験の実施
- ②技術指導及び新技術の導入促進 技術相談、技術指導の実施
先端加工技術の普及と指導（難削材加工、精密切断及び3D加工等）

③講習会・研修会等の開催

工業技術に関する講習会等の開催による人材育成の実施
令和8年度実施予定講習会等

ア 随時開催

- ・初級C A D入門講座 ・ C A Dで学ぶ機械製図の基礎 ・ 基礎から学ぶレーザ加工機
- ・プレスブレーキとレーザ加工機を連携させた曲げ加工の基礎 ・ 製品製作のいろは
- ・ガス切断・現場製作について ・ 基礎から学ぶT I G溶接
- ・基礎から学ぶ3 D C A D講座（Fusion 編、Solid Works 編）

イ 他機関との共催

- ・ものづくり体験セミナー ・ 3 D C A D講習会

④技術開発及び共同研究

- ・先端機器による生産加工技術の研究開発 ・ 異業種交流の促進、企業との共同研究

⑤技術情報の収集及び提供

工業技術に関する専門図書（雑誌、書籍等）の閲覧

⑥機械金属工業関係団体の指導育成

機械金属及び関係工業の各団体の代表で構成され、機械金属業界の振興を図り、産業の発展に寄与するため設置された旭川機械金属工業振興会の事務局

また、機械金属及び関連企業に対する、企業情報・補助金情報等の提供及び助言等

（7）組織

経済部長 — 産業振興課長 — 工業技術センター（7人）

事務職員3人（内、会計年度任用職員1人）

技術職員4人（内、会計年度任用職員2人）

（8）事業実績（直近5か年分）

（単位：件、時間、人）

実施事業	年 度		R3	R4	R5	R6	R7
試験、検査及び測定	試験等依頼件数		842	882	842	593	497
	成績書謄本交付件数		5	1	1	13	8
	（小計）		847	883	843	606	505
機器開放及び貸室	部屋及び物品使用件数		266	301	304	305	309
	機器使用	件数	517	483	534	548	490
		時間	1,533	1,360	1,800	2,360	1,433
	（小計）		783	784	838	853	799
技術指導及び相談	面接相談指導件数		39	38	65	48	30
	企業訪問指導等件数		0	16	24	27	21
	（小計）		39	54	89	75	51
講習会、研修会等の開催	講習会等開催件数		26	24	30	41	36
	受講者数		132	156	312	242	279

(9) 施設維持修繕等（直近3か年分）

（単位：千円）

年 度	件 名	金 額
令和5年度	暖房配管・パネルヒーター薬品洗浄修繕	990
	暖房設備修繕	68
	通用口ドア修繕	20
	暖房設備部品交換修繕	435
	レーザ加工機部品交換修繕	2,037
	汎用平面研削盤修理	429
令和6年度	空調機取付工事（センター入居4団体事務室）	3,025
	レーザ加工機部品交換修繕	326
	女子トイレ水漏れ修繕	19
	消火設備取替修繕	37
	排煙窓交換修繕	165
	複合防災盤交換修繕	990
令和7年度	空調機取付工事（センター事務室ほか2室）	1,925
	ラインポンプ部品交換修繕	74
	溶接ブースケープル修繕	188
	第1受電設備過電流継電器（HOC）修繕	358
	シャリングマシン部品交換修繕	129
	視聴覚室天井吊下げスピーカー交換	218

2 技術基盤

公設試験研究機関は、地域企業の研究開発の支援機関として大きな役割を担っており、本市には木工芸及び窯業の生産技術の向上並びに品質改善等の研究指導を行う旭川市工芸センター、機械金属及び関連工業の技術指導、研究開発、情報提供を行う旭川市工業技術センターがある。

これらの施設の技術指導用機器の拡充などを通して試験研究の推進、技術指導の強化を図り、地域企業、工業の振興発展に努めている。

(1) 工業技術センター設備整備費

目 的 機器等の整備を進め、工業技術センターの機能を充実し、機械金属工業等の製品の高付加価値化、生産の合理化を図る。

始 期 平成元年度

機器導入実績

年 度	金 額	機 器
令和3年度	1,055 千円	T I G溶接機（(株)サークル商事様より寄付）
令和5年度	570 千円	デュアルタイプ膜厚計（吉峰鉄工(株)様より寄付） 3 D C A D（Fusion）
令和6年度	9,161 千円	蛍光X線分析装置（リース契約）
令和7年度	197 千円	3 Dプリンタ

3 試験、検査及び測定

(1) 試験、検査等の手数料及び件数

(単位：円、件)

項 目		1 件当たりの金額	件 数	金 額
材 料 試 験	引 張 試 験	2,040	427	871,080
	曲 げ 試 験	2,330	4	9,320
	せん断試験	2,040		
	圧 縮 試 験	2,380	49	116,620
	破 壊 試 験	2,900	9	26,100
	偏 平 試 験	2,900		
	荷 重 試 験	2,900		
	マクロ組織試験	3,410	8	27,280
	電子顕微鏡試験	6,020		
計測・ 測定試験	寸法精度測定 0.1 mm以上	1,090		
	寸法精度測定 0.01 mm以上	1,670		
	粗 さ 測 定	2,250		
	膜 厚 試 験	760		
合 計			497	1,050,400

(2) 交付手数料及び件数

(単位：円、件)

項 目	1 通当たりの金額	件 数	金 額
成 績 書 謄 本	460	8	3,680

4 機器開放及び貸室

(1) 機器の使用料及び件数

(単位：円、件、時間)

機 器 名		1 時間当たり の金額	件 数	時間	金 額
材 料 試 験 機 器	万能材料試験機	1,880	4	4	7,520
	ショア硬さ試験機	630			
	ロックウェル硬さ試験機	630			
	ブリネル硬さ試験機	630			
	微小硬さ計	700			
	塩水噴霧試験機	780			
	走査電子顕微鏡	1,700			
	コンクリート圧縮試験機	1,260			
	蛍光X線分析装置	2,850	42	42	119,700
非 破 壊 検 査 機 器	超音波探傷機	830			
	磁気探傷機	610			
	X線探傷機	610			
測 定 計 測 機 器	静ひずみ測定器	830			
	動ひずみ測定器	830			
	デジタル表面温度計	580			
	デジタル放射温度計	600			
	電磁膜厚計	610			
	高周波膜厚計	600			
	超音波厚さ計	630			
	電子風速計	600			
	ペーハーメーター	580			
	粗さ測定器	830			
	ハイトマチック	630	1	3	1,890
	デジタルマイクロスコープ	1,420	5	5	7,100
	ミックスドシグナルオシロスコープ	840			
	3Dスキャナ	1,380	4	8	11,040

機 器 名		1 時間当り の金額	件 数	時間	金 額
加 工 機 器	レーザ加工機	4,590	318	910	4,176,900
	旋 盤	1,260			
	フ ラ イ ス 盤	1,300	1	1	1,300
	平 面 研 削 盤	1,260			
	バンドソー	1,050	1	1	1,050
	シャリングマシン	1,260	5	5	6,300
	コーナーシャー	1,110			
	プレスブレーキ	1,190	15	20	23,800
	アーク溶接機	820	49	232	190,240
	半自動アーク溶接機	780	25	131	102,180
	T I G 溶接機	890			
	ワイヤカット放電加工機	1,680	16	48	80,640
	マシニングセンタ	1,690			
	3 D プリンタ	1,490	4	23	34,270
合 計			490	1,433	4,763,930

(2) 部屋の使用料及び件数

(単位：円、件)

種 別	時間区分	使用料	暖房料	件 数	金 額
会 議 室	午 前(9 時～12 時)	1, 170	230	37(22)	48, 350
	午 後(13 時～17 時)	1, 570	310	31(16)	53, 630
	夜 間(18 時～21 時)	1, 170	230	14(6)	17, 760
	全 日(9 時～21 時)	3, 910	780		
視 聴 覚 室	午 前(9 時～12 時)	2, 880	570	74(24)	223, 920
	午 後(13 時～17 時)	3, 850	770	75(23)	302, 610
	夜 間(18 時～21 時)	2, 880	570	2(2)	6, 900
	全 日(9 時～21 時)	9, 610	1, 920	1	9, 610
実習試験室	午 前(9 時～12 時)	2, 200	440	17(8)	40, 920
	午 後(13 時～17 時)	2, 930	580	25(13)	80, 790
	夜 間(18 時～21 時)	2, 200	440		
	全 日(9 時～21 時)	7, 330	1, 460		
合 計				276	784, 490

※暖房料は 11 月 1 日～4 月 30 日の期間に加算される。

※件数の () 内の数は、暖房加算件数で内数。

※視聴覚室 午前 1 件、午後 1 件の減免申請利用分を含む。

(3) 備付物品の使用料及び件数

(単位：円、件)

品 名	単 位	使用料	件 数	金 額
ビデオプロジェクター	1 回、1 式	540	33(1)	17, 280
コピー使用料	1 枚	10		
合 計			33(1)	17, 280

※件数の () 内の数は、減免申請利用件数で内数。

5 技術指導及び相談

(1) 技術相談・技術指導内容及び件数

技術相談・技術指導内容		件数	小計
1	材料（成分分析、組織）、試験検査に関すること ・成分分析について ・圧縮試験について ・曲げ試験について ・引張試験について ・荷重試験について ・キャンプ用ベッドの耐荷重試験について ・溶接ナットの押込みはく離試験について ・全周溶接部の破断原因の分析について ・異形棒鋼の破断原因の分析について ・溶融亜鉛メッキ鋼板の膜厚測定について ・紛体の寸法測定について ・紛体の粒度分布の測定について	3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	15
2	各種加工・検査機器等に関すること ・レーザ加工機による加工について ・3Dプリンタによる製品製作について ・旋盤を使用した製品加工について ・既存機械の増設に係る機械利用について	3 1 1 1	6
3	その他 ・超音波検査技術者の資格試験に係る試験片等の貸出しについて ・引き抜き力に関する実験データの提供について ・対応可能な事業者・支援機関・相談先等の紹介について (内訳) 事業者：飲食店用テーブル、ステンレス製品 支援機関：粒体試験及び比重試験、内部寸法測定、電子天秤	1 1 5	7
合 計			28

6 講習会、研修会及び体験事業等の開催

(1) 講習会実施状況一覧

日 時	テーマ	講 師	件数 (日)	受講者 (延べ数)
4/3	溶接技能者評価試験直前講習会	外部講師	1	4
4/11、12	基礎から学ぶレーザ加工機	センター講師	2	2
4/24	蛍光X線分析装置見学会	センター講師	1	2
4/25	基礎から学ぶT I G溶接	センター講師	1	1
5/9	製品製作のいろは	センター講師	1	2
6/25～27	メタルワーク体験事業 第1回 (ADW2025)	センター講師	3	0
7/14	図面にあるいろいろな記号 (出向講習)	センター講師	1	10
7/29、30	CADで学ぶ機械製図の基礎	センター講師	2	2
8/3	メタルワーク体験事業 第2回	センター講師	1	65
10/10	基礎から学ぶレーザ加工機	センター講師	1	2
10/17	メタルワーク体験事業 第3回	センター講師	1	5
10/25	3DCAD講座 (SOLID WORKS 編)	外部講師	1	8
10/28	ロボット&デジタル活用人材育成講座	外部講師	1	28
11/8	メタルワーク体験事業 第4回 (ものづくり体験講座)	センター講師	1	1
11/15	メタルワーク体験事業 第5回 (あさひかわキッズタウン)	センター講師	1	37
11/17	基礎から学ぶアーク溶接	センター講師	1	1
11/21	基礎から学ぶアーク溶接	センター講師	1	1
11/27	溶接技能者評価試験直前講習会	外部講師	1	9
11/28	基礎から学ぶレーザ加工機	センター講師	1	1
12/10	基礎から学ぶアーク溶接	センター講師	1	1
12/19	基礎から学ぶアーク溶接	センター講師	1	1
12/23	半自動溶接のSA-2F取得指導	センター職員	1	1
1/10	メタルワーク体験事業 第6回	センター職員	1	36
1/20	基礎から学ぶ3DCAD講習	センター職員	1	2
2/25	施設見学会 (旭川工業高等専門学校)	センター職員	1	24
2/27	移動工業試験場	外部講師	1	17
3/11	基礎から学ぶレーザ加工機	センター講師	1	1
3/11	プレスブレーキとレーザ加工機を連携させた曲げ加工の基礎	センター職員	1	2
3/18、19	基礎から学ぶ3DCAD講習 (Fusion 編)	センター講師	2	2
3/23、24	基礎から学ぶアーク溶接	センター講師	2	2
合 計			36	279

(2) 講習会等実施内容一覧

①工業技術センター単独の講習会（講師：センター講師）

テ ー マ	講 習 会 内 容
■ C A Dで学ぶ製図の基本	C A Dの基本的な作図コマンドの使い方や機械製図の基礎（製図規格や投影法、断面図、対称図形の表示法など）について講座を実施。
■ 基礎から学ぶレーザ加工機	加工プログラムの作成から実際の加工処理までのレーザ加工に関する基礎について講座を実施。
■ プレスブレーキとレーザ加工機を連携させた曲げ加工の基礎	プレスブレーキとレーザ加工機を使用し、加工プログラムの作成から実際の切断・曲げ加工に関する基礎について講座を実施。
■ 製品製作のいろは	図面の読み取り方や、溶接の基本、鋼材の知識など製品製作に関する知識・技術について講座を実施。
■ 基礎から学ぶT I G溶接	T I G溶接機の基本的な使い方やT I G溶接に関する知識・技術について講座を実施。
■ 基礎から学ぶアーク溶接	半自動アーク溶接機の基本的な使い方やアーク溶接に関する知識・技術について講座を実施。
■ 基礎から学ぶ3 D C A D講座（Fusion編）	3 D C A Dの基本操作やFusion による製図操作の習得、製品データ作成、各種解析について講座を実施。
■ 図面にあるいろいろな記号（出向講習）	表面粗さ記号や溶接記号、寸法公差、幾何公差など設計図面に記載される図面記号について講習会を実施。
■ 半自動溶接のS A-2 F取得指導	J I S半自動溶接技能者 基本級（S A-2 F）取得に必要な知識や技術について講習会を実施。
■ 蛍光X線分析装置見学会	令和6年度に導入した蛍光X線分析装置について、実際に試験分析を行いながらその機能を紹介する見学会を実施。

②他機関との共催講習会等

テ ー マ	講 習 会 内 容
■ 3 D C A D講座(Solid Works編) 講師：旭川工業高等専門学校	(独)国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校、旭川機械金属工業振興会、旭川商工会議所、産業技術振興会と共催で実施。基礎技術の向上や新技術、高度な技術の習得、高付加価値型製品開発、生産体制の強化等、地元企業における競争力強化を目的として開講。3 D C A Dを使用した設計技術講習を通して3次元設計の重要性の理解促進に努めた。
■ ロボット&デジタル活用人材育成講座 講師：新栄クリエイト(株) (地独)北海道立総合研究機構	製造現場におけるロボットやデジタル技術等の導入、活用を担う人材の確保及び育成を目的に、(公財)北海道立総合研究機構と共同で開催。協働ロボットの操作実習を行ったほか、各種シミュレーションや3Dコンテンツ作成等の先進技術を紹介した。
■ 溶接技能者評価試験直前講習会 講師：旭川溶接協会	旭川溶接協会との共催により、溶接技能者評価試験の合格率向上を目的とした試験対策講習会を実施した。

③その他事業

テ ー マ	講 習 会 内 容
■ 施設見学会 講師：センター講師	旭川工業高等専門学校の学生を対象に施設見学の受け入れを実施し、施設内の設備について実演を交え紹介した。

■メタルワーク体験事業 講師：センター講師	旭川機械金属工業振興会との共催により、学生を対象としたメタルワーク体験を実施。「あさひかわデザインウィーク2025」や、ポリテクセンター旭川が主催する「ものづくり体験教室」、旭川市主催の「あさひかわキッズタウン」への出展を含め、計6回の体験事業を行った。
■移動工業試験場 講師：(地独)北海道立総合研究機構	(地独)北海道立総合研究機構との共催により、寒冷地ものづくりラボの紹介とAM技術を利用した金属製品の高機能化技術に関するセミナーを開催した。

7 情報収集及び提供

(1) 技術関連図書・資料の開放

ロビーで専門図書、技術雑誌及び各種情報を提供した。

(2) 令和6年度事業報告書の作成

令和6年度事業報告書を作成した。(令和7年6月発行)

(3) ホームページによる情報提供

◆旭川市工業技術センターホームページ

<URL> <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>

<内容>

- ・沿革
- ・事業内容
- ・新導入機器紹介
- ・開放設備機器
- ・会議室／視聴覚室等の貸室
- ・依頼試験／検査
- ・技術相談／指導／支援
- ・各種講習会開催
- ・企業情報データベース
- ・交通アクセス

(4) 企業情報データベース登録企業への情報提供

メール・FAX等を活用し、各種補助金やセミナーに関する案内を周知した。(20件)

8 その他の主な事業

(1) 会議等への参加

■第116回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議

場 所：書面による

■第68回東北・北海道地区公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議

場 所：書面による

■北のものづくりネットワーク会議

日 時：令和8年2月12日

場 所：北海道総合研究プラザ（札幌市北区北19条西11丁目）

(2) 職員の研修

■機械研削用といしの取替え等の業務に係る特別教育

日 時：令和7年8月25日、26日

場 所：旭川市工業技術センター

受講者：1名

■特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習

日 時：令和7年7月17日、18日

場 所：旭川市ときわ市民ホール

受講者：1名

(3) 運営委員会の開催

■令和7年度旭川市工業技術センター運営委員会開催

日 時：令和7年12月24日

場 所：旭川市工業技術センター

議 題：令和6年度事業報告、令和7年度の取り組みについて、
使用料・手数料の見直しについて

(4) 技術シーズネットワーク会議の開催

■旭川ものづくり技術シーズネットワーク会議

日 時：①令和7年7月4日 ②令和7年12月4日

場 所：①旭川市工業技術センター ②道央食糧供給株式会社

内 容：旭川市内のものづくり産業支援機関等が連携し、地元企業の支援を図ることを目的に
支援機関間の組織的な連携体制を構築した会議。その第5回目及び6回目を開催した。

旭川市工業技術センター運営委員会委員名簿

【令和8年3月31日時点】

区 分	所 属	職 名	氏 名
機 械 金 属 工 業 等 関 係 者	旭 川 工 業 団 地 協 同 組 合	理 事 長	佐々木 通 彦
	旭 川 鐵 工 組 合		森 本 千 晶
	旭 川 溶 接 協 会	会 長	松 田 誠 一
	(一社)北海道機械工業会旭川支部	支 部 長	関 山 真 教
	旭 川 機 械 金 属 工 業 振 興 会	会 長	佐 藤 大 志
	旭 川 板 金 工 業 協 同 組 合	理 事 長	村 椿 幸 二
	旭 川 塗 装 工 業 協 同 組 合	理 事 長	黒 田 隆 一
学 識 経 験 者	旭 川 商 工 会 議 所	事 務 局 長	大 野 恵 司
	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部北海道職業能力開発促進 センター 旭 川 訓 練 セ ン タ ー	訓練センター長	工 藤 正 之
	北海道立旭川高等技術専門学院	学 院 長	伊 藤 尊 之
	(独)国立高等専門学校機構 旭 川 工 業 高 等 専 門 学 校	教 授	堀 川 紀 孝
	(大) 旭 川 市 立 大 学	准 教 授	川 原 潤 也



令和7年度旭川市工業技術センター事業報告書

令和8年7月発行

発行：旭川市経済部産業振興課工業技術センター

〒078-8273

旭川市工業団地3条2丁目1-18

TEL：0166-36-3111

FAX：0166-36-4461

E-mail：kougyoucenter@city.asahikawa.lg.jp

URL： <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>

